



平成29年1月18日
海上保安庁

平成28年における海難発生状況（速報値）

～船舶事故は過去最少～

○ 船舶事故

- 船舶事故隻数は、前年比122隻減の2,015隻で、平成13年から開始した現在の統計手法では過去最少
- プレジャーボート及び貨物船の事故隻数が大きく減少した一方で、漁船及び旅客船は増加
- 小型船舶^(※1)による事故隻数（1,569隻）が船舶事故全体の約8割を占めている
- 船舶事故に伴う死者・行方不明者数は、前年比13人増の61人

○ 人身事故^(※2)

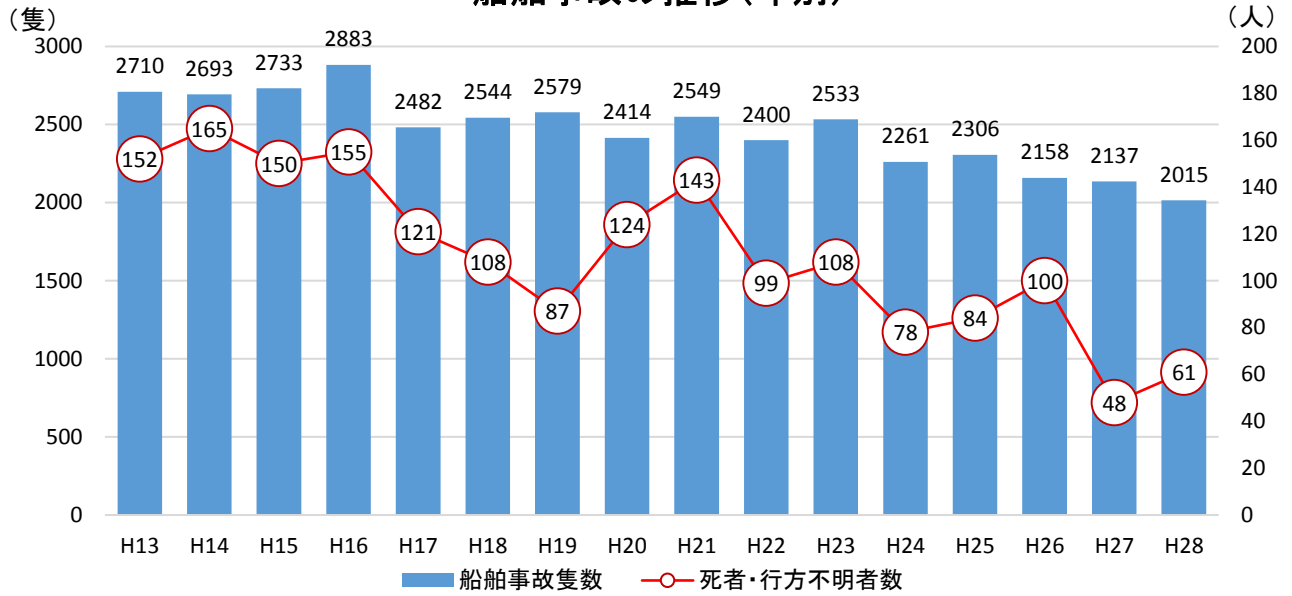
- 人身事故者数は、前年比21人増の2,654人
- マリンレジャーに伴う事故者数は902人で、遊泳中及び釣り中の事故者数が増加し、約7割を占めている
- 人身事故に伴う死者・行方不明者数は、前年比19人減の1,089人

※1 小型船舶とは、漁船、遊漁船及びプレジャーボートをいう。

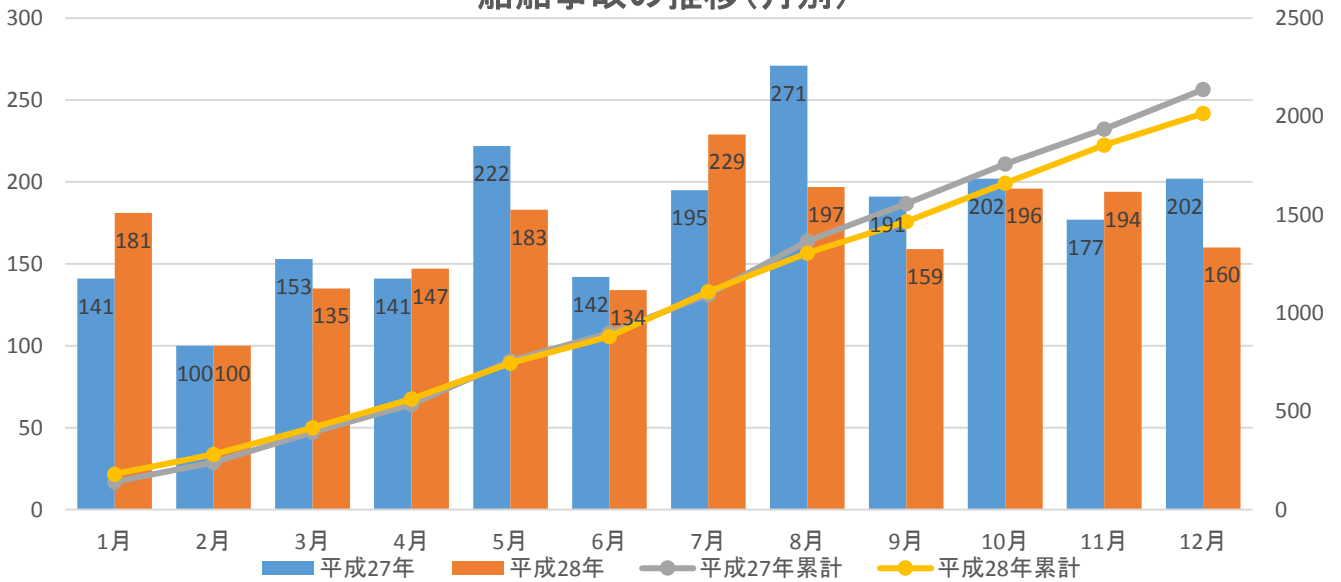
※2 人身事故とは、船舶事故以外の乗船中の事故及び海浜事故をいう。

なお、本値は速報値であり、数値の確定及び今後の対策については、「海難の現況と対策（平成28年1月～12月）」として3月に発表予定としています。

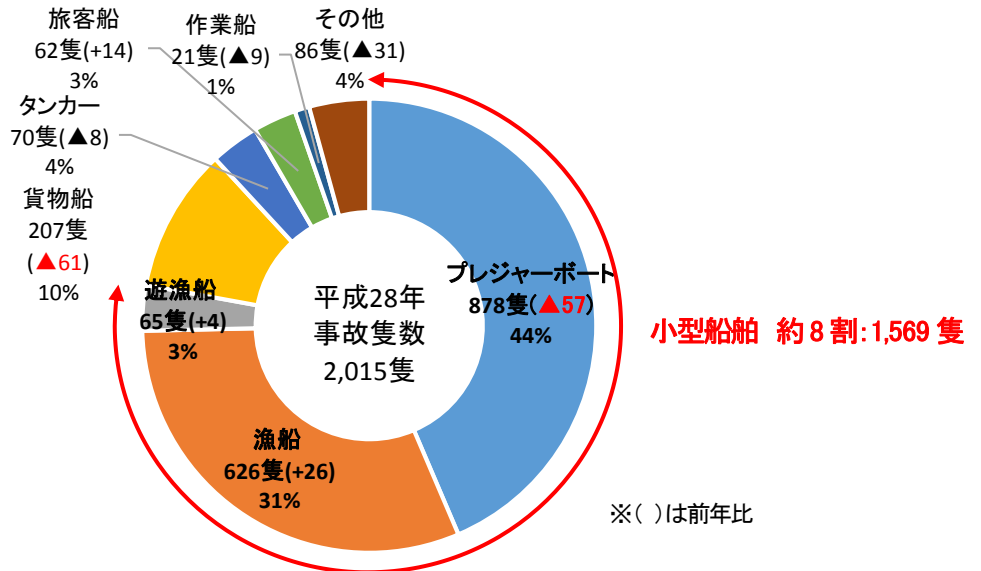
船舶事故の推移(年別)



船舶事故の推移(月別)



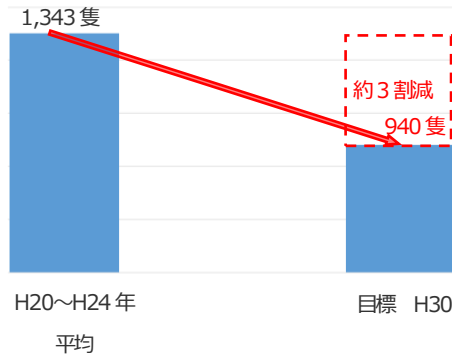
船舶種類別の割合



(参考)

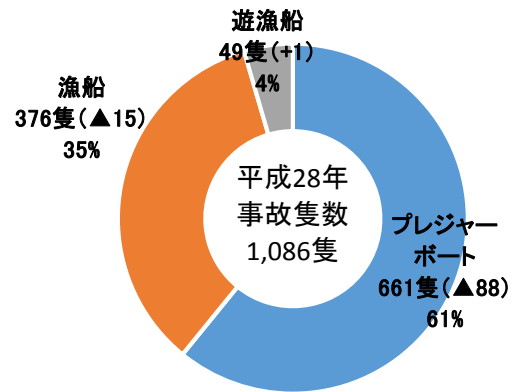
◇第3次交通ビジョン目標(H26年～H30年)

不可抗力を除く小型船舶の事故について、H20年からH24年までの年平均約1,343隻に対して、H30年までに約3割減少させる。(事故数約940隻へ)



不可抗力:異常な気象海象(豪雪や津波)等が原因であり乗組員の知識、技能又は注意力によっては事故を避け難かったもの。

小型船舶事故 (不可抗力を除く)



◇第10次交通安全基本計画目標(H28年度～H32年度)

2020年代中に我が国周辺で発生する船舶事故隻数(本邦に寄港しない外国船舶によるものを除く。)を第9次計画期間の年平均(2,256隻)から約半減(1,200隻以下)することを目指し、我が国周辺で発生する船舶事故隻数を平成32までに少なくとも2,000隻未満とする。

【主な船舶事事故事例】

発生月 8月

事故船舶 プレジャーボート(19トン、4名乗船)

概要 千葉県銚子市沖にて、釣り大会に参加していたプレジャーボートA号は、「銚子マリーナに向う。」旨の無線通信を最後に連絡途絶となった。後に海上において、乗船者4名が心肺停止の状態で見られ、船体の一部、救命浮環等が回収された。



事故船舶(通常時)

発生月 8月

事故船舶 プレジャーボート(18トン、12名乗船)

概要 神戸港内にて、花火大会観覧を終えたプレジャーボートB号は、堺港向け帰港中のところ、防波堤の存在に気付かず高速で衝突し、乗船者12名のうち8名が負傷、船体は沈没した。



事故船舶(沈没状態)

発生月 12月

事故船舶 漁船(76トン、底引き網漁業、9名乗船)

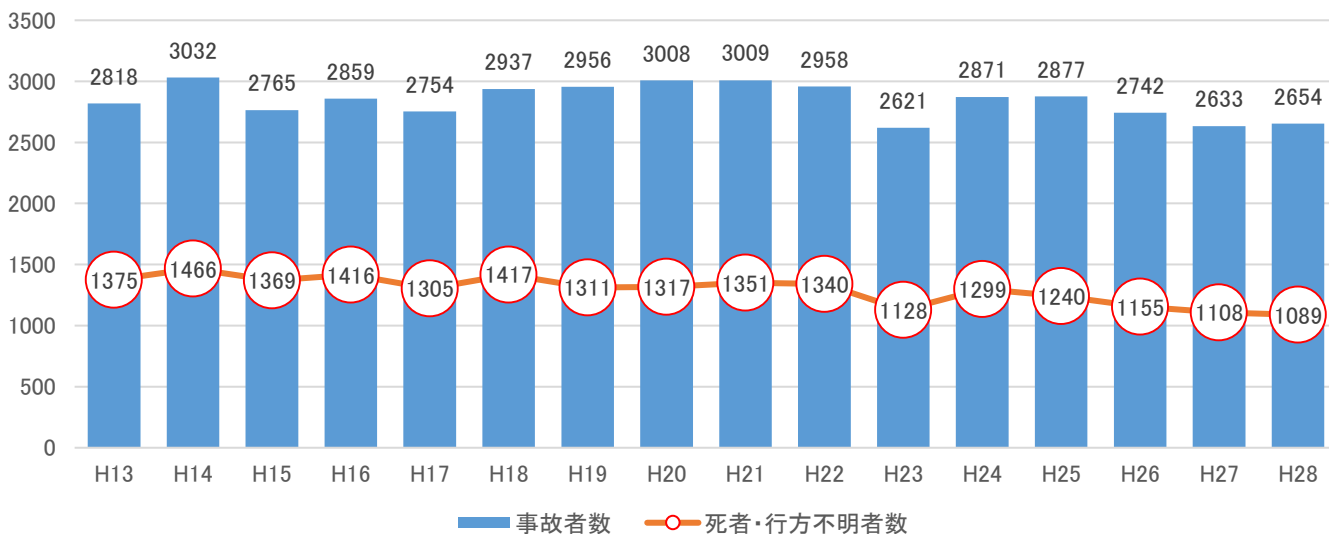
概要 島根県美保関沖にて、エンジントラブルで曳航されていた漁船A丸が転覆・沈没し、乗組員9名全員(日本人8名、インドネシア人1名)が行方不明となった。

その後の捜索により、乗組員4名が発見されたが、いずれも死亡が確認された。

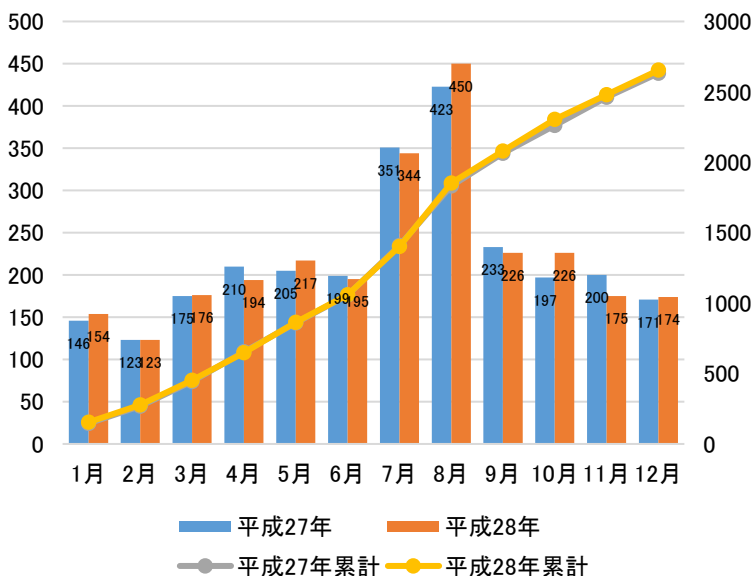


事故船舶(通常時)

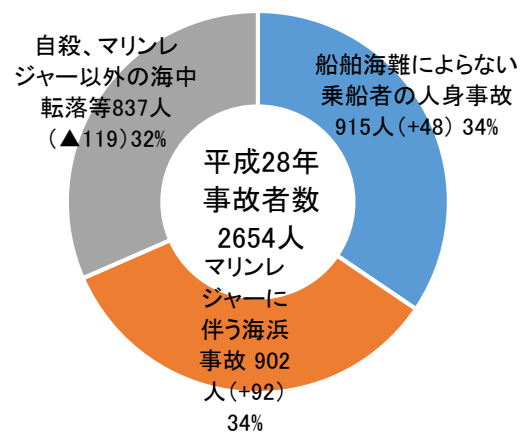
人身事故の推移(年別)



人身事故の推移(月別)

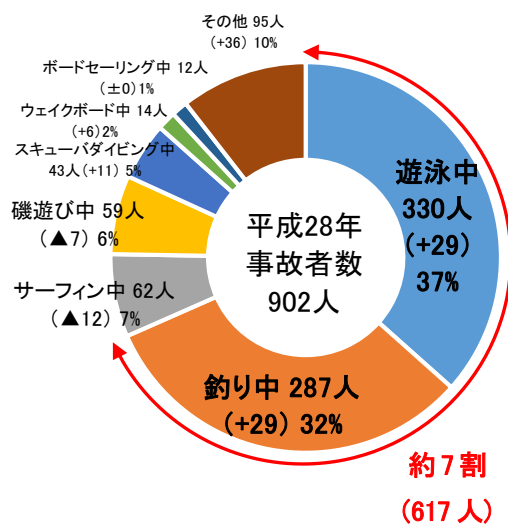
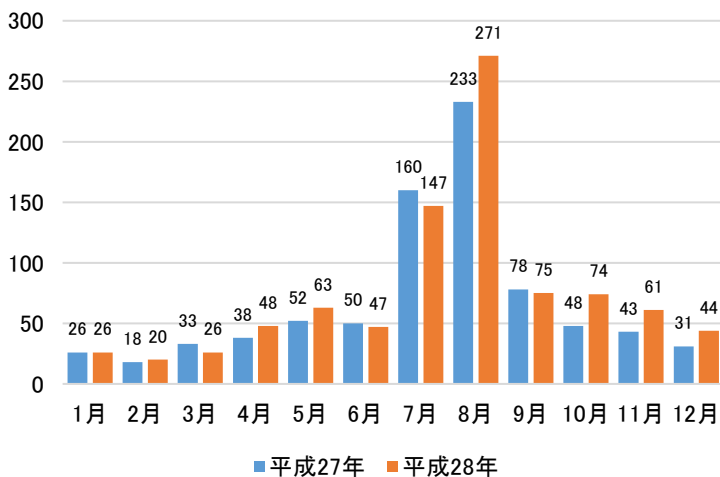


人身事故の区分別の割合

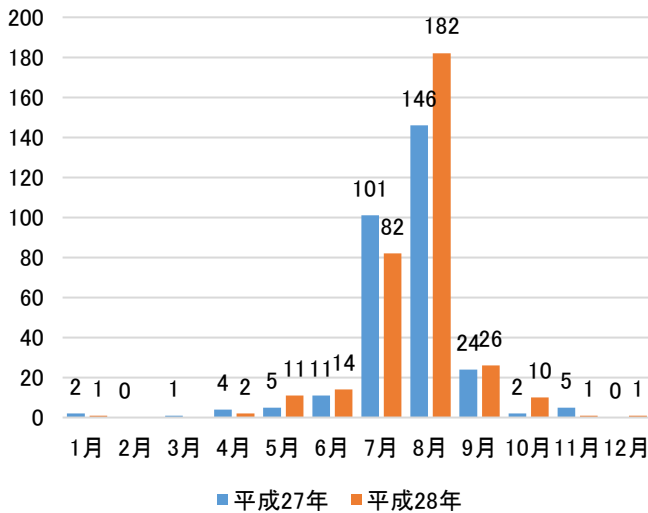


マリレジャーに伴う海浜事故

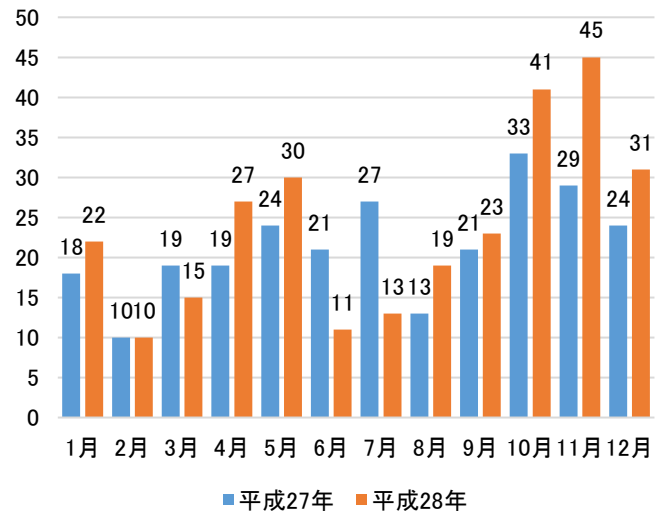
マリレジャーに伴う海浜事故の推移(月別)



遊泳中の事故の推移(月別)



釣り中の事故の推移(月別)



【主な人身事事故事例】

発 生 月 6月

事 故 者 水上オートバイ同乗者(男、18歳)

概 要 水上オートバイの後部座席に乗船していた者がオートバイの加速時に海中転落し、臀部に痛みを訴え救急搬送された。ジェット水流による直腸肛門外傷(全治1ヶ月)と診断された。



事故船舶

発 生 月 8月

事 故 者 遊泳者(男1名、21歳)

概 要 閉鎖中の海水浴場において3名が遊泳中のところ、沖に流され遊泳区域境界付近の浮き玉に捕まっていた。2名は砂浜まで自力で泳ぎ帰還したが、残り1名は行方不明になった。同人は後日付近海岸にて発見されたが、死亡が確認された。



捜索状況

発 生 月 12月

事 故 者 釣り人(男1名、64歳)

概 要 立入禁止柵を越えて防波堤に進入し、2名が釣り中のところ、救命胴衣未着用の1名が誤って海中転落し、行方不明になった。同人は同日付近海域にて発見されたが、死亡が確認された。



防波堤立入禁止柵